

計画には、市内の子どもたちが丹波市の未来を描いた193点もの絵画が散りばめて掲載されています。



第3次丹波市総合計画を策定

みんなで作った総合計画

第3次丹波市総合計画は、令和7年度から10年間のまちづくりの指針となるもので、市民・地域、事業者、行政が協働してめざすまちの将来像や市の政策を示しています。本計画は市民を主体とする総合計画審議会が中心となり、市民アンケートやワークショップなどを通して、子どもから大人まで、みんなで協力してつくりあげました。



みんなでめざす丹波市の将来像

丹波市の将来像として、「まなび ^{まなこ}ときめく 丹の里～しあわせ輝く みんなの未来へ～」を掲げました。将来像には、人口減少や少子高齢化が進む中、一人ひとりが主役になり、自ら学び、学んだことを活かし、自分らしく暮らしたり、周りの人を支えたりしながら、しあわせを実感できるまちにしたいという思いが込められています。



市民によるワークショップ



市の将来像を話し合う委員

計画には、将来像を実現するための重要な視点やまちづくりの目標、取り組む施策を分かりやすく示した体系図を掲載しています。

子どもも大人も
分かりやすい
概要版！



計画本編



概要版